

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱																		
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者																			
作業名称	のり面階段支柱取替工		作業手順書	作成年月日 令和6年1月22日																		
使用機械 使用設備	4tユニック、2tトラック		改正年月日																			
使用工具、機器	土砂、スコップ、CRC、ラジオペンチ、締固め用の棒、ディスクサンダー、パール、アメリカンスコップ、		現場責任者																			
	土のう袋、ブレーカー、チップパー		協力会社	会社名																		
保護具	ヘルメット、手袋、防護メガネ、耐切削手袋		協力会社責任者	担当者																		
材料	基礎ブロック、モルタル、土砂、碎石		作業順序 <table border="1"> <tr><td>1</td><td>事前準備</td></tr> <tr><td>2</td><td>現地確認</td></tr> <tr><td>3</td><td>既存手摺撤去</td></tr> <tr><td>4</td><td>床掘</td></tr> <tr><td>5</td><td>新規手摺設置</td></tr> <tr><td>6</td><td>片付け</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>		1	事前準備	2	現地確認	3	既存手摺撤去	4	床掘	5	新規手摺設置	6	片付け						
1	事前準備																					
2	現地確認																					
3	既存手摺撤去																					
4	床掘																					
5	新規手摺設置																					
6	片付け																					
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証																					
	技能講習:小型移動式クレーン																					
	特別教育:振動工具																					
作業人員	作業責任者 1人、作業員 4人																					
作業手順	作業責任者(職長)		周知会実施日																			
周知会	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自署サインする)																					
参加者																						
サイン (記録)																						
合計	5名																					

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○ ○×、△△、×△	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	△×、×△ ××	3:中程度	職長が確認
					4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
					5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)	(誰が) 主なステップ	作業のポイント						
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め(位置、荷台のネット・シート)掛けの確認する。工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。						
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認						
ケーブル等周辺安全確認 (埋設物・構造物)		管理用図面で事前確認	図面がないケーブルが確認された場合、作業を中断し、担当者へ報告すること。					
既設手摺撤去(全員)								
	ディスクサンダー使用し手摺のチェーン撤去する。	手元注意	ディスクサンダーで手を切る	△	×	△×	4	安 保護メガネ、手袋手元を注意し、無理な体制で作業しない。
	既設基礎ブロック周辺をディスクサンダーを使用し、周辺と線を切る							
	ブレーカー、又はチップパーを使用し基礎周辺をはり既設ブロックを振り起こす。土工の場合はスコップ等を使用し振り起こす。	飛散注意	ブレーカー使用時に飛散物が目に入る	△	△	△△	3	安 はつり手保護メガネ、手袋を着用する。
		足元注意、周囲確認	ブレーカで足を踏める	△	×	△×	4	安 安全靴を着用し、無理な体制で作業しない
床掘	ユニックを使用し、既設基礎ブロックを撤去する。コンクリートガラ等は土のう袋に詰める	周囲確認、声掛け	ユニック使用時つり荷が人と接触する	△	×	△×	4	安 周囲確認し、操作者は合図者の指示のもと操作する。
	新規基礎ブロックが設置できるようスコップ等を使用し床掘する。	基礎ブロックの寸法確認	基礎ブロックが設置できない	△	×	△×	4	品 図面を確認し少し大きめに床掘を行う
基礎設置(全員)								
	ユニックを使用し、既設基礎ブロックを設置する。	周囲確認、声掛け	基礎ブロック設置時に指や足を挟む	△	△	△△	3	安 周囲確認し、操作者は合図者の指示のもと操作する。
	基礎の中にモルタルを入れ支柱を固定する。	支柱根本付近に水がたまらないよう傾斜をつける。	水がたまり支柱が腐食する	△	△	△△	3	品 支柱根本付近に水がたまらないよう傾斜をつける。
	基礎の周りをモルタル等で補修する。							
後片付け (責任者、作業員)	清掃 荷台養生	工具の確認 荷台の養生確認	荷台の荷物が走行中に車線に流出する	△	×	△×	4	公 荷台の養生を2人以上で確認する
								工事車両を撤去した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知							